

地域振興助成 2019 年度採択事業 活動紹介

瀬戸内海地域振興助成

1. 塩屋布団太鼓による子供巡行活動（兵庫県神戸市）

塩屋青年会

代表者名：岸部 克俊

塩屋地区の布団太鼓は昭和 35 年頃に一度廃絶となったが、平成 20 年に約 50 年ぶりに復活した。塩屋布団太鼓巡業は年々地域の多くの方が参加し、世代交流の場となっており、祭継承のための活動を行う。

Facebook: <https://www.facebook.com/shioyaseinen>



2. 三原だるまプログラミング教材で、地域を興す！！（広島県三原市）

一般社団法人 RoFReC

代表者名：岡田 吉弘

三原三大祭りの一つであるだるま市（神明市）は地域の賑わいを創出している。そこで、三原の伝統工芸品である「だるま」を活かした小学生向けプログラミング学習のカリキュラム、教材を確立し、学校教育の場へ貢献することで、裾野が広い地域振興を目指している。

Website: <https://www.rofrec.jp/>



3. 小豆島サイクルツーリズムの学び（香川県小豆島）

一般社団法人 小豆島サイクルツーリズム推進協議会(SCTA)

代表者名：須藤 渚

小豆島は、素麺、醤油、佃煮、ごま油、オリーブ等の産業が盛んな地域。そこで、新たにサイクリングを小豆島観光コンテンツにすることにより、観光の活性化、交流人口の増加による移住促進を目指している。

Website: <https://shodoshima-cycle.org/>



4. 女木ふれあい場所づくり（香川県高松市女木島）

鬼ヶ島活性化委員会

代表者名：三島 恵子

女木島は、高松よりフェリーで 20 分弱の場所に浮かぶ風光明媚な島だが、限界集落化が進んでおり、将来に向けた島外との連携を目指している。島民と来訪者が交流できる居場所づくりを行い、島の農産物等を使ったワークショップを開催し、生産者との交流を通じて女木島の魅力発信を行う。



5. 直島の特産品を開発しよう！（香川県香川郡直島町） 直島いちじくプロジェクト

代表者名：山岸 正明

島内の休耕地再生のため、直島の新たな特産品としていちじくを栽培、ブランド化し、国内外の来訪者へ直島のいちじくを広めることを目指す。

Instagram: https://www.instagram.com/naoshima_fig/



6. 坂出市与島地区の歴史と民俗調査（香川県坂出市与島地区） 代表者名：濱本 敏広

地域から消えてしまいそうな伝統や歴史、文化を地域の方々より聞き取り調査を行い冊子を作成する。その冊子を基に、小中学校や公共施設に配布、島歩きガイド、講演などを行い、地域の記憶を後世に残す活動を行う。



7. 芸予諸島に残存する古民家を住み継ぐための持続的・実践的活動 （愛媛県今治市大三島）

日高仁/関東学院大学+西澤高男/東北芸術工科大学

代表者名：日高 仁

大三島は過疎化が進み、空き家が増加し、他の島嶼部と同様大きな問題となっている。地元 NPO 団体と協働で築 100 年を超える古民家を活用のイメージが湧く状態にまで整備し、古民家が住み継がれていくための活動を行う。

